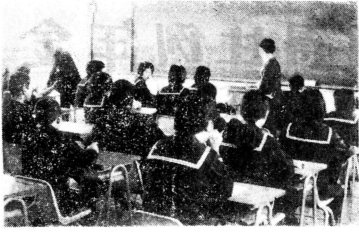


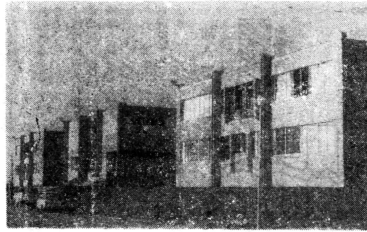




写真で見る統合中学校

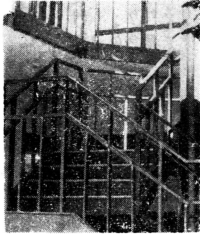


新しい教室で勉強、相内・脇元・十三校舎の生徒もみんな仲よく……。

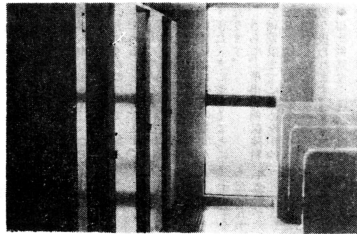


校舎全景（四つの校舎がH字型に組み合されている）

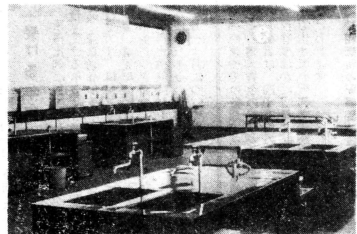
昨年七月から、建設をすすめていた統合中学校舎と寄宿舎が完成しました。新校舎での授業は九月七日からはじまりましたが相内地区をのぞいた百七十六人の生徒は寄宿舎へは、美しい日々をおくっています。以下は、写真で見える市浦中学校々舎と寄宿舎の内部です。



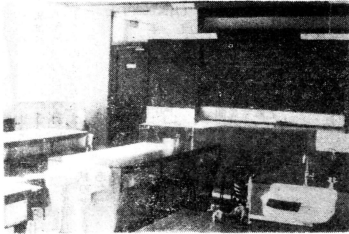
ら炭階段一二階へ行くときはこのハイカラな階段をのぼります。



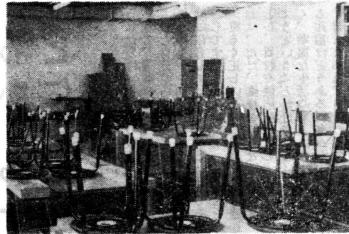
水洗便所—はじめて使用してみたという生徒もいます。



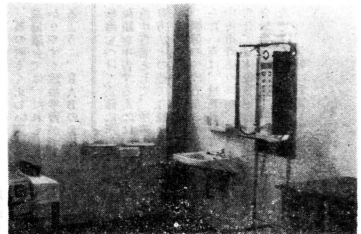
衛生的な調理室、栄養師の高い給食はここから運ばれます。



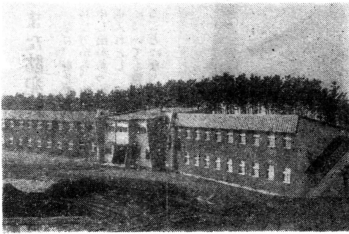
物理・化学室—ここでは実験も行なわれます。



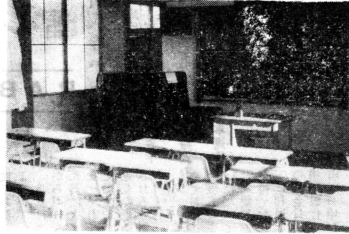
技術室—いろいろな技術を勉強するところです。木工と金工にわかれています。



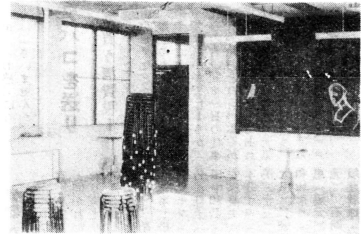
保健室—からだの調子の悪いときは、もちろん、日常の健康状態を調べるところです。



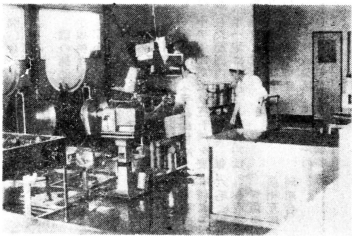
寄宿舎（青雲寮）全景—大沼・唐川城跡をうしろに松の緑につつまれた立派な環境に建てられました。



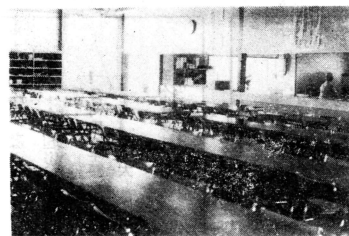
音楽室—放送局のように音響効果を高めるために防音装置になっているほか階段式になっています。



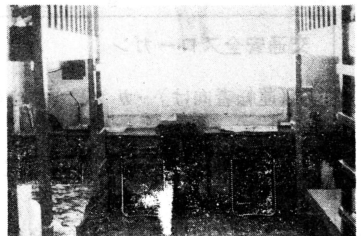
美術室—絵画・彫刻などを勉強するところです。



寄宿舎の調理室—ここで176人の給食がつけられます。炊事婦6人がいます。



寄宿舎の食堂—舎生の食事はここで、テレビもそなえられています。定員200人の大食堂です。



舎室—二段ベッドで四人はっています。